2014

公益社団法人 米沢青年会議所

JC Report
Annual Report
2013 ~ 2014

Junior Chamber International Yonezawa.

目 次

2013年度（平成25年度）事業及び収支決算報告書	
事業報告	2
例会報告	3
理事会報告	5
貸借対照表	7
正味財産増減計算書	8
正味財産増減計算内訳表	9
収支計算書	10
収支計算内訳表	11
財産目録	12
財務諸表に対する注記	13
※7～17ページは、平成25年1月1日～平成25年12月31日までの決算報告書	
備品目録	18
倉庫備品リスト	19
決算報告・監査意見書	20
2013年度（平成25年度）アニュアルレポート	21
2014年度（平成26年度）事業及び収支予算計画書	55
2014年度スローガン	56
理事長所信 2014年度 第53代理事長 白井 裕久	57
基本理念	61
2014年度公益社団法人米沢青年会議所 組織図	62
2014年度 事業計画	63
正味財産増減計算書内訳表	64

2013年度
(平成25年度)

事業及び収支決算報告書

公益社団法人 米沢青年会議所
自 2013年 1月 1日
至 2013年 12月 31日

2013年度 事業報告（対外事業・他）

1月

事務所開き・事業始め

公益社団法人日本青年会議所 京都会議（京都）

公益社団法人日本青年会議所 総会（京都）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 新春交歓会 第1回会員会議所会議（南陽）

2月

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 ゼミナール委員会開校式（仙台）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第4エリア ブロック会長公式訪問（山形）

3月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議（山形）

公益社団法人日本青年会議所 復興創造フォーラム（宮城）

東日本大震災復興祈念事業（米沢）

4月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 会頭公式訪問（南陽）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議（鶴岡）

5月

公益社団法人日本青年会議所 憲法タウンミーティング（山形）

社団法人高島青年会議所 35周年記念式典（高島）

米沢法人会 清掃活動（米沢）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議（米沢）

6月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 LOM 協働運動推進委員会 OMOIYARIプロジェクト2013（米沢）

JCI ASPAC 光州大会

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 公開討論会（山形）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議（酒田）

一般社団法人東海青年会議所 45周年記念式典（愛知）

7月

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議（寒河江）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第46回ブロック大会 寒河江大会（寒河江）

公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス2013（横浜）

南陽市豪雨災害支援活動（南陽）

8月

青年部サミット2013（米沢）

南陽市豪雨災害支援活動（南陽）

9月

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 会員会議所会議（秋田）

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 東北青年フォーラム 大曲大会（秋田）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議（村山）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 総務JC運動発信委員会 つなごうプロジェクト2013（村山）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 アカデミー委員会 アカデミープログラム（米沢）

10月

公益社団法人日本青年会議所 第142回全国大会奈良大会（奈良）

公益社団法人日本青年会議所 総会（奈良）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議（天童）

11月

公益社団法人上越青年会議所 意見交換会（新潟）

JCI世界会議（ブラジル リオデジャネイロ）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議（南陽）

公益社団法人日本青年会議所 山形ブロック協議会 エピローグ2013（南陽）

12月

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 会員会議所会議（山形）

公益社団法人日本青年会議所 東北地区協議会 卒業式（山形）

2013年度 例会報告

期 日	総 会 ・ 例 会	会 場	内 容
1月15日(火)	総会 来出席 46名 委任状出席 30名 (76名中) 来賓・OB 32名	東京第一ホテル米沢	『第103 回定時総会』 第一号議案 2012年度年間事業報告承認の件 第二号議案 2012年度収支決算承認の件 監査報告 担当 ときめき総務広報委員会
	1月例会 出席 47名 来賓・OB 32名	東京第一ホテル米沢	『新春祝賀会』 理事長挨拶 来賓・OB 紹介 来賓・OB 会長・ブロック協議会会長挨拶 鏡開き 市長・町長・理事長書初め披露 担当 ときめき総務広報委員会
2月9日(土) 10日(日)	2月第1例会 出席 51名	松ヶ岬公園お祭り広場	『上杉雪灯籠まつり 雪と光のテーマパーク2013 ミニ SL 乗車大検 ストラックアウト 雪灯籠・木灯籠・版画展示 ココアの振る舞い 不思議メガネ販売 担当 本気づくり委員会
2月19日(火)	2月第2例会 出席 28名	熊野大社 證誠殿	『ブロック会長第4エリア公式訪問』 ブロック会長挨拶 日本青年会議所 基本方針説明 ブロック各委員会説明 第4エリア LOM 紹介 会員会議所 事業説明 担当 常任理事会、事務局
3月24日(日)	3月例会 出席 34名	穴原温泉 いづみや	『救命講習会』 飯坂消防署の指導による救命講習会 普通救命講習や AED の使用講習 担当 地域活性委員会
4月13日(土)	4月例会 出席 52名	伝国の杜	『佐野有美氏講演会』 講演テーマ:「特別じゃない 私がふつうの女の子として歩んできた23年間」 担当 感動と笑顔の青少年育成委員会
5月19日(木)	5月例会 出席33名	亘理町 旧館仮設住宅	『被災者支援事業』 もちつき大会及び振る舞い ポップコーン・漬物振る舞い ハンドマッサージ パルーンアート 担当 ときめき総務広報委員会
6月9日(日)	6月例会 出席36名 一般参加者104名	住江橋～万里橋の松川河 川敷両岸・その周辺	『ふるさとOMOYARIプロジェクト2013』 県内一斉清掃活動 スポーツゴミ拾い 担当 常任理事会・事務局

7月6日(土) 7日(日)	7月第1例会 出席 29名	寒河江市 最上川ふるさと総合公園 他	『山形ブロック大会寒河江大会』 メインフォーラム・たからいち 防災減災フェスタ 分科会 担当 常任理事会、事務局
7月28日(日)	7月第2例会 出席 55名	松川河川敷	『MUSIC FESTIVAL 2013』 アマチュアバンドパフォーマンス 高校生日本一バンド the village papas による公演 YEG Y-1 グルメグランプリとの同時開催 担当 地域活性委員会
8月5日(月)	8月第1例会 出席 50名	米沢市置賜総合文化センター	『新入会員バッチ贈呈式及び次年度理事長当選者挨拶』 新入会員にバッチ贈呈 次年度理事長当選者挨拶 担当 M21 委員会
8月8日(木) 9日(金)	8月第2例会 出席 41名	飯豊少年自然の家	『ワクワク！冒険サマーキャンプ』 小学校1年生から6年生までを対象とした冒険キャンプ 徳育セミナー 魚のつかみ取り体験 担当 愛と感動の青少年育成委員会
9月12日(木)	総会 出席 50名 委任状出席37名 (87名中)	グランドホクヨウ 米沢	『第104回通常総会』 第一号議案 2014年度理事予定者承認の件 第二号議案 2014年度監事予定者選出及び承認の件 2013年度理事長候補者意見表明 当選証書授与 担当 ときめき総務広報委員会
9月21日(土)	9月例会 出席 44名	米沢市中央周辺	『逢いべ！赤いいと(EAT)コン！！』 飲食店10店舗を貸し切った男性100人対女性100人の街コン 担当 本気づくり委員会
10月17日(木)	10月例会 出席 33名	熊野大社 證誠殿	『置賜4JC合同例会』 塩釜 JCOB 矢部亭先輩による講演会 担当 常任理事会・事務局
11月24日(日)	11月例会 出席 49名 同伴者 16名 子供 33名	グランドホクヨウ 米沢	『ワクワク クリスマスパティー ～サクノミクスで愛の100倍返しだ！！～』 メンバーの家族を含めたイベント多数のクリスマスパーティー 担当 会員拡大委員会
12月7日(土)	12月例会 出席51名	上杉神社 臨泉閣	『2013ラストスピーチ・卒業式』 卒業生のスピーチ・卒業証書授与 担当 ときめき総務広報委員会

貸借対照表

平成25年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	23,272	198,340	▲ 175,068
預金	6,349,751	4,640,358	1,709,393
未収金	0		0
流動資産合計	6,373,023	4,838,698	1,534,325
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	5,006,001	5,004,504	1,497
基本財産合計	5,006,001	5,004,504	1,497
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
デスクトップPC	0	0	0
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	5,006,001	5,004,504	1,497
資産合計	11,379,024	9,843,202	1,535,822
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			0
短期借入金			0
預り金			0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			0
(うち特定資産への充当額)			0
2. 一般正味財産	11,379,024	9,843,202	1,535,822
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	11,379,024	9,843,202	1,535,822
負債及び正味財産合計	11,379,024	9,843,202	1,535,822

正味財産増減計算書

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,497	1,504	▲ 7
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	10,225,000	9,765,000	460,000
事業収益	1,272,600	2,304,950	▲ 1,032,350
受取補助金等	875,000	356,000	519,000
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	197,080	344,868	▲ 147,788
雑収益	32,245	82,007	▲ 49,762
経常収益計	12,603,422	12,854,329	▲ 250,907
(2) 経常費用			
事業費	11,067,600	12,628,067	▲ 1,560,467
事業費	8,286,028	9,573,449	▲ 1,287,421
給与手当	453,049	731,888	▲ 278,839
退職給付費用		0	0
福利厚生費		0	0
会議費	130,000	0	130,000
旅費交通費	66,000	105,650	▲ 39,650
通信運搬費	226,196	145,467	80,729
減価償却費		0	0
消耗什器備品費	2,086,205	1,977,238	108,967
消耗品費	38,662	51,954	▲ 13,292
修繕費	31,500	73,500	▲ 42,000
印刷製本費	1,027,140	706,849	320,291
燃料費		0	0
光熱水料費		14,526	▲ 14,526
賃借料	1,165,562	1,113,797	51,765
保険料	95,103	86,494	8,609
謝礼金	436,515	1,568,000	▲ 1,131,485
租税公課		3,200	▲ 3,200
支払負担金	233,662	217,360	16,302
支払助成金		0	0
支払寄付金		0	0
委託費	1,221,355	1,088,190	133,165
雑費	1,075,079	1,689,336	▲ 614,257
管理費	2,781,572	3,054,618	▲ 273,046
給与手当	113,263	182,972	▲ 69,709
退職給付費用		0	0
福利厚生費	5,078	17,124	▲ 12,046
会議費	37,900	49,875	▲ 11,975
旅費交通費	24,000	31,000	▲ 7,000
通信運搬費	45,234	255,385	▲ 210,151
減価償却費		0	0
消耗什器備品費	13,650	10,500	3,150
消耗品費	19,886	55,306	▲ 35,420
修繕費		0	0
印刷製本費	318,145	289,505	28,640
燃料費		0	0
光熱水料費	1,200	0	1,200
賃借料	229,848	245,598	▲ 15,750
保険料		0	0
謝礼金	294,098	170,000	124,098
租税公課	27,500	45,248	▲ 17,748
支払負担金	1,170,500	1,239,930	▲ 69,430
支払助成金		0	0
支払寄付金	43,200	25,000	18,200
委託費	60,000	40,000	20,000
雑費	378,070	397,175	▲ 19,105
経常費用計	11,067,600	12,628,067	▲ 1,560,467
評価損益等調整前当期経常増減額			
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	1,535,822	226,262	1,309,560
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,535,822	226,262	1,309,560
一般正味財産期首残高	9,843,202	9,616,940	226,262
一般正味財産期末残高	11,379,024	9,843,202	1,535,822
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,379,024	9,843,202	1,535,822

収支計算書

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用益収入	0	1,497	▲ 1,497
特定資産運用益収入	0	0	0
受取会費収入	9,145,000	10,225,000	▲ 1,080,000
事業収入	320,000	1,272,600	▲ 952,600
受取補助金等収入	400,000	875,000	▲ 475,000
受取負担金収入	0	0	0
受取寄付金収入	0	197,080	▲ 197,080
雑収入	0	32,245	▲ 32,245
事業活動収入計	9,865,000	12,603,422	▲ 2,738,422
2. 事業活動支出			
事業費支出	6,935,167	8,286,028	▲ 1,350,861
給与手当支出	584,000	453,049	130,951
退職給付費支出	0	0	0
福利厚生費支出	0	0	0
会議費支出	230,000	130,000	100,000
旅費交通費支出	380,000	66,000	314,000
通信運搬費支出	370,000	226,196	143,804
減価償却費支出	0	0	0
消耗什器備品費支出	1,780,000	2,086,205	▲ 306,205
消耗品費支出	200,000	38,662	161,338
修繕費支出	50,000	31,500	18,500
印刷製本費支出	400,000	1,027,140	▲ 627,140
燃料費支出	0	0	0
光熱水料費支出	0	0	0
賃借料支出	1,001,392	1,165,562	▲ 164,170
保険料支出	60,000	95,103	▲ 35,103
謝礼金支出	200,000	436,515	▲ 236,515
租税公課支出	0	0	0
支払負担金支出	203,775	233,662	▲ 29,887
支払助成金支出	0	0	0
支払寄付金支出	0	0	0
委託費支出	540,000	1,221,355	▲ 681,355
雑費支出	936,000	1,075,079	▲ 139,079
管理費支出	2,929,833	2,781,572	148,261
給与手当支出	146,000	113,263	32,737
退職給付費支出	0	0	0
福利厚生費支出	50,000	5,078	44,922
会議費支出	100,000	37,900	62,100
旅費交通費支出	0	24,000	▲ 24,000
通信運搬費支出	62,600	45,234	17,366
減価償却費支出	0	0	0
消耗什器備品費支出	24,000	13,650	10,350
消耗品費支出	50,000	19,886	30,114
修繕費支出	0	0	0
印刷製本費支出	359,145	318,145	41,000
燃料費支出	0	0	0
光熱水料費支出	0	1,200	▲ 1,200
賃借料支出	229,848	229,848	0
保険料支出	0	0	0
謝礼金支出	195,000	294,098	▲ 99,098
租税公課支出	30,000	27,500	2,500
支払負担金支出	1,115,750	1,170,500	▲ 54,750
支払助成金支出	200,000	0	200,000
支払寄付金支出	0	43,200	▲ 43,200
委託費支出	70,000	60,000	10,000
雑費支出	297,490	378,070	▲ 80,580
事業活動支出計	9,865,000	11,067,600	▲ 1,202,600
事業活動収支差額	0	1,535,822	▲ 2,500
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
他会計振替額	0	0	0
当期収支差額	0	1,535,822	▲ 1,535,822
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	1,535,822	▲ 1,535,822

監査数値内訳書
平成25年1月1日～平成25年12月31日まで

(単位:円)

科 目	公益事業会計				その他事業会計				法人会計	内蔵取引消去	合計	
	青少年育成事業	ひとづくり事業	まちづくり事業	共通	小計	会員啓発事業	会員拡大事業	親善団体連携事業				共通
I 事業活動収支の部												
1. 事業活動収入												
基本財産運用収入				1,497	1,497					0		1,497
特定資産運用収入												
貸入金収入					0					0	660,000	660,000
受取金収入												
正会員受取会費収入	380,000	380,000	1,997,312	1,168,728	3,926,040	268,700	117,460	189,969	121,689	697,618	2,636,142	7,160,000
新入会員受取会費収入			500,000		500,000					0	320,000	1,320,000
特別会員受取会費収入					0					0	120,000	120,000
賛助会員受取会費収入					0					0	0	0
学生会受取会費収入					0					0	0	0
賛助団体会費収入			29,900		29,900			597,596	190,000	787,696	167,610	975,000
事業収入												
登録料収入	273,000		889,500		1,162,500							1,162,500
販売収入			105,600		105,600							105,600
広告料収入					0							0
雑収入		4,500			4,500							4,500
受取補助金等収入												
地方公共団体補助金収入			878,000		878,000					0		878,000
民間補助金収入					0					0		0
業種委託収入					0					0		0
受取負担金収入					0					0		0
定款利息収入					0					0		0
受取寄付金収入		197,080			197,080					0		197,080
雑収入										0	2,426	2,426
定款利息収入										0	28,819	28,819
その他雑収入										0		0
事業活動収入計	663,000	581,680	4,397,312	1,170,225	6,802,117	268,700	117,460	787,559	311,689	1,485,408	4,315,997	12,603,422
2. 事業活動支出												
事業費支出												
給与手当支出				339,787	339,787				113,262	113,262		453,049
退職給付費支出					0					0		0
福利厚生費支出					0					0		0
会議費支出	130,000				130,000					0		130,000
旅費交通費支出	30,000				30,000			36,000	39,882	36,000		66,000
通信運搬費支出			60,000	94,735	154,735					71,461		226,196
燃料費支出	322,392		1,499,411		1,821,803	99,739	37,398		127,072	264,309		2,086,205
消耗品費支出			39,662		39,662					0		39,662
修繕費支出			31,500		31,500					0		31,500
印刷製本費支出	70,450	105,000	845,896		1,021,346	2,000	3,800			5,800		1,027,146
燃料費支出					0					0		0
光熱水料費支出					0					0		0
賃借料支出		81,470	190,720	500,544	772,734	88,200	76,290	61,500	166,848	302,638		1,165,562
保険料支出	45,600		49,500		95,100					0		95,100
雑税金支出		320,000	110,000		430,000			6,515		6,515		436,515
租税公課支出					0					0		0
支払負担金支出					0					0		0
JCI会費支出				57,088	57,088					0		57,088
JCI会費新入会員分支出				19,624	19,624					0		19,624
国際協力費支出				116,800	116,800					0		116,800
国際協力新入会員分支出				40,150	40,150					0		40,150
支払助成金支出					0					0		0
支払寄付金支出					0					0		0
委託費支出	54,358	10,500	1,084,105		1,149,005	78,750		48,000		126,750		1,221,355
雑費支出		64,610	487,521		600,489			468,500		468,500		1,078,979
管理費支出											113,263	113,263
給与手当支出					0					0		0
退職給付費支出					0					0		0
福利厚生費支出					0					0		0
会議費支出					0					0		0
旅費交通費支出					0					0		0
通信運搬費支出					0					0		0
燃料費支出					0					0		0
消耗品費支出					0					0		0
修繕費支出					0					0		0
印刷製本費支出					0					0		0
燃料費支出					0					0		0
光熱水料費支出					0					0		0
賃借料支出					0					0		0
保険料支出					0					0		0
雑税金支出					0					0		0
租税公課支出					0					0		0
支払負担金支出					0					0		0
日本JCI基本額支出					0					0		0
日本JCI会費支出					0					0		0
日本JCI会費新入会員分支出					0					0		0
地区協議会基本額支出					0					0		0
地区協議会会費支出					0					0		0
地区協議会会費新入会員分支出					0					0		0
ブロック協議会基本額支出					0					0		0
ブロック協議会会費支出					0					0		0
ブロック協議会会費新入会員分支出					0					0		0
WEI 地区JCI管理料支出					0					0		0
日本JCI出向者負担金支出					0					0		0
地区協議会出向者負担金支出					0					0		0
ブロック協議会出向者負担金支出					0					0		0
支払助成金支出					0					0		0
支払寄付金支出					0					0		0
雑費支出					0					0		0
事業活動支出計	663,000	581,680	4,397,312	1,168,728	6,800,620	268,700	117,460	787,559	311,689	1,485,408	2,781,572	11,067,690
事業活動収支差額	0	0	0	1,497	1,497	0	0	0	0	0	1,534,325	1,536,822
II 投資活動収支の部												
1. 投資活動収入												
2. 投資活動支出												
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部												
1. 財務活動収入												
2. 財務活動支出												
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出												
他会計振替額												
当期収支差額	0	0	0	1,497	1,497	0	0	0	0	0	1,534,325	1,536,822
前期繰越収支差額												
次期繰越収支差額	0	0	0	1,497	1,497	0	0	0	0	0	1,534,325	1,536,822

財 産 目 録
平成25年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	23,272
	預金	普通預金	財政基盤安定資金(一般)	3,131,878
		普通預金 普通預金	財政基盤安定資金(一般・委員会用) 財政基盤安定資金(基金)	3,217,873
流動資産合計				6,373,023
(固定資産)				
基本財産	基本財産	定期預金0703604 米沢信用金庫駅前支店 手元現金	公益事業の積立資産であり、資産取得 資金として管理されている預金	5,000,000
特定資産				6,001
その他				
固定資産合計				5,006,001
資産合計				11,379,024
(流動負債)				
	未払金			0
	短期借入金		運転資金	0
流動負債合計				0
(固定負債)				
	長期借入金			0
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産				11,379,024

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
2. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
 - (4) 引当金の計上基準
 - (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 - (6) 消費税等の会計処理

3. 会計方針の変更

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
基本財産				
基本財産	5004504	1497	0	5006001
小 計	5004504	1497	0	5006001
特定資産				
退職給付引当資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	5004504	1497	0	5006001

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産	5,006,001	0	0	0
小 計	5,006,001	0	0	0
特定資産				
退職給付引当資産				
〇〇積立資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	5,006,001	0	0	0

(記載上の留意事項)

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

6. 担保に供している資産

(資産) 円(帳簿価格)は、長期借入金 円の担保に供している。

7. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建 物			
合 計	0	0	0

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金			
合 計	0	0	0

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務
に対する保証債務は、 円である。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時 価	評価損益
国 債			
〇〇株式会社社債			
合 計	0	0	0

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加高	当期 減少高	当期末 残高	貸借対照表 上の 記載区分
補助金						指定正味財産 流動負債
助成金						
合 計	0	0	0	0	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末 合計	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高
基金				
〇〇基金				
基金計				
代替基金				
〇〇基金				
橙基金合計				
合 計	0	0	0	0

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 減価償却費計上による振替額	
経常外収益への振替額 目的達成による指定解除額	
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属 性	法人等の名称	住所	資産総額 (単位:円)	事業の内容 又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (単位:円)	科目	期末残高 (単位:円)
						役員 の兼務等	事業上の関係				

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおり

前期末		当期末	
現金預金勘定	××円	現金預金勘定	××円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	××円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	××円
現金及び現金同等物	××円	現金及び現金同等物	××円

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
現物により寄付を受けた固定資産が×××円ある。	現物により寄付を受けた固定資産が×××円ある。

16. 重要な後発事象

17. その他

1. 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	基本財産	5,004,504	1,497	0	5,006,001
	基本財産計	5,004,504	1,497	0	5,006,001
特定資産					
	特定資産計				

記載上の留意事項

- ・ 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- ・ 重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金					

記載上の留意事項

- ・ 期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- ・ 当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- ・ 「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- ・ 引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。

備品目録

平成25年12月31日現在

米沢JCルーム

番号	物品名	在庫数	購入時期	備考
1	例会用鐘	1	S38. 02	
2	折りたたみ椅子	7	S56. 01	
3	耐火金庫	2	S56. 04	正常1台 破損1台
4	CDラジカセ	1	H12. 12	
5	メガホン	3	H12. 12	
6	パイプ棚	1	H15. 06	
7	電話機	1	H16. 12	
8	法被	92	H17. 07	うち 理事長用2着
9	パソコン	1	H17. 12	
10	デジタルカメラ	1	H18. 12	
11	ボイスレコーダー	1	H20. 01	
12	JCパネル一式	1	H20. 06	国旗・JC旗のパネルボード
13	プロジェクター一式	1	H21. 12	
14	延長コード	多数	不明	
15	シュレッダー	1	不明	東海JCより
16	パソコン	1	H22. 12	
17	23インチディスプレイ	1	H22. 12	
18	外付 HDD(NAS)	1	H22. 12	
19	のぼり	20	H23. 11	山形・東海・上越JCより
20	のぼり旗用の棒	20	H23. 11	山形・東海・上越JCより
21	無線用ルーター	1	H23. 12	
22	折りたたみ椅子(黒)	4	H24. 01	第51代理事長より
23	台車	1	H24. 01	第51代理事長より
24	レーザープリンター	1	H25. 12	東海JCより
25	JCパネル	1	H25. 12	H25年卒業生一同より

米沢JC倉庫 備品リスト

写真・資料	62箱	ドラム缶	2個
炭	3箱	水タンク	4個
紙コップ・皿	1箱	寸胴 大	1つ
寸胴 小	1つ	鍋	4つ
ザル	8つ	プラスチック桶	12個
寝袋	1個	スチール灰皿	150個
包丁	1ケース	はんごう(18個)	2ケース
ライフジャケット(23着)	2箱	バーベキューコンロ	2個
七輪	4個	勝ち刀	1ふり
旗たて	1セット	カッティングマット	4枚
折りたたみ椅子	27脚	木燈籠	49脚
土台の木枠	6個	例会看板	2枚
テーブル	8台	ブルーシート	8枚
パイプ椅子	12脚	レッドカーペット	5枚
野球ボール(硬球)	132個	野球ボール(軟球)	3個
ソフトボール	5個	ござ	9枚
松明 大	2本	松明 小	20本
ストラックアウト 枠	1台	ストラックアウト 的	1セット
シャベル	20本	スノコ	2枚
キャンプテーブル	1台	ポール	40本
チャッカマン	8本	ローソク50個入り	8箱
画鋏	1000本	クレヨン12色	5箱
雪ぼんぼり作成バケツ	12個	焚き火用ペール缶	5個
雪切り包丁	3本	水汲みバケツ	14個
軍手	460組	ごみ袋70ℓ 10枚入り	17個

決算報告書

以上の通り、2013年度収支決算をご報告申し上げます。

2014年1月4日

公益社団法人米沢青年会議所
2013年度 財政局長

加藤 剛士

公益社団法人米沢青年会議所
2013年度 財政局次長

遠藤 正紀

公益社団法人米沢青年会議所
2013年度 理事長
本多 作之助 殿

監査意見書

2013年度収支決算を監査の結果、適正に処理されていることを認めます。

2014年1月4日

公益社団法人米沢青年会議所
2013年度 監事

二宮 健太郎

吉澤 匠

2013年度

(平成25年度)

アニュアルレポート

《2013年度スローガン》

米沢JCスローガン

ワクワクした夢を共に語れ! ～「本気」と「情熱」が未来を創る～

日本JCスローガン

新しい時代への燈火となれ!

東北地区協議会スローガン

LiNK -TOHOKU ～つなごう!東北 新たなコミュニティーの創造へ向けて～

山形ブロック協議会スローガン

清らかな「こころ」に火を燈そう! ～熱意、情熱こそが創造の源泉である～

公益社団法人 米沢青年会議所

自 2013年 1月 1日

至 2013年 12月 31日

2013年度会員動向

・ 卒業者 相田 光照
 新藤 猛
 高橋 淳
 中村 信也
 二宮 健太郎
 満田 隆之

・ 新入会員 阿部 哲
 加藤 寿一
 加藤 淳一
 加藤 慎也
 神原 祐哉
 小鯖 悟
 齋藤 紘輔
 佐藤 秀仁
 柴田 正人

・ 新入会員 菅野 健蔵
 鈴木 智春
 鈴木 将裕
 諏訪 豪一
 情野 純一
 寺瀬 真悟
 中野 忍
 細川 敬一
 皆川 敦
 目崎 毅
 山口 浩史
 横山 幸宏
 渡部 かおり

・ 退会会員 安部 仁人
 村山 学

～2013 年度 卒業生紹介～

相田	光照	(平成 23 年入会)
新藤	猛	(平成 13 年入会)
高橋	淳	(平成 9 年入会)
中村	信也	(平成 22 年入会)
二宮	健太郎	(平成 20 年入会)
満田	隆之	(平成 20 年入会)

2013年1月 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

「公益社団法人米沢青年会議所 第103回通常総会(定時総会)」

開催時期:平成25年1月15日

開催場所:東京第一ホテル米沢

2.参加者

正会員77名中 出席者数76名(98.7%)

※うち委任状出席者 30名(38.9%)

3.例会に対するコメント

理事者はじめ、事務局、メンバー各位のご協力を深く感謝致します。今回、委任状回収作業を通してメンバーの認識の違いを感じました。公益社団法人に移行し3年となりますが卒業生が総会まで出席義務がある事を知らない方もおられました。これは卒業式が先に終わっているのが勘違いが起き易いのかもかもしれませんが今後の課題とし総務広報委員会からメンバーに発信して行かなければならないと改めて感じました。9月の総会では今回の経験を生かしてまいります。今後共、ご協力をお願いいたします。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・卒業生への連絡は早めに行ってください。
- ・委任状回収は各委員長の協力をお願い出来ればスムーズです。
- ・しっかりとしたシナリオの作成、事務局との連携を図っておく事が大切です。
- ・総会の事前配信資料ダウンロードは定着しているようです。紙資料の希望は今回ありませんでした。

2013年1月 新春祝賀会 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

「公益社団法人米沢青年会議所 2013年度 新春祝賀会」

開催時期:平成25年1月15日

開催場所:東京第一ホテル米沢

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 47名(72.3%)、来賓:14名、OB:28名

3.例会に対するコメント

ご来賓はじめ沢山の先輩方にご臨席頂き新春祝賀会を行う事が出来ました。出欠の返信を頂く度に時節柄足元の悪い中わざわざ足を運んでご来場頂けるという事、欠席の返信にも温かいメッセージが添えられていた事にご来賓、先輩方が米沢JCへかける思い、期待や関心を感じその期待に応えられるような設営をしたいと思い準備を進めました。

今回初めての試みがいくつかあり、会場の変更や控室の排除はご心配をお掛けしたと思いますが当日会場内で談笑されている光景を目にし安心したところであります。また、オープニングに書道パフォーマンスを取り入れた事により今までにないような大掛かりな準備作業が必要となりました。幸い前日に搬入作業が出来ましたので当日はリハーサルに専念する事が出来ました。リハーサルを何度も行いながら準備や万が一の備えを行う事の大切さを感じました。そして力強く大きく書かれた「夢語(れ)」の文字から本多理事長の熱い情熱がご臨席頂きました皆様に強く伝わったのではないかと思います。一方でプログラム内容の数が多すぎたようで時間が押ししてしまいました。こちらは次年度に引き継ぎ内容を精査する事でより良い設営へとまいります。

最後にご協力頂きました理事者はじめメンバー各位に深く御礼申し上げます。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・来賓・OBの出欠確認は念入りに行ってください。
- ・開催日を決定する際、早めに理事長・専務とよく相談し来賓のスケジュールを確認した上で精査し、確実に来て頂ける段取りを行ってください。
- ・前年度の内容をふまえ、シナリオ作りを最初から細かくチェックしてください。
- ・通しリハーサルは必ず行い徹底してください。
- ・委員会メンバーだけでは対応しきれませんので事務局やメンバーの協力を早めに依頼する事が必要です。
- ・出欠ハガキのナンバリングは必ずしてください。

2013年2月 事業報告

委員会名:本気づくり委員会

担当者:委員長 梅津 義範

1.例会の概要

上杉雪灯籠まつり「雪と光テーマパーク2013」

開催時期:平成25年2月7日、9日、10日

開催場所:松が岬公園、お祭り広場駐車場

2.参加者

正会員65名中 出席者数51名(78%)

3.例会に対するコメント

例会の二日間ともに大変天気に恵まれました。前日の準備段階では猛吹雪の中でのSLのコース掘りと線路の設置はとても大変な作業になりました。中でもコースの豆腐掘りは打合せ通りの高さにならず高かったため、ものすごく時間と労力がかかる重労働を委員会メンバーと有志の理事者の方で掘り進めることが出来ました。例年好評の絵画展示につきましても興譲小学校と初の西部小学校へ依頼し「夢」というテーマで書いて頂き、素晴らしい絵画や書道に来場者の方や書いた小学生、親御さんがたくさん見に来て頂きクラスメートの絵画の写真をたくさん撮っている光景がありました。当日はストラックアウトでも予想人数の3倍以上の集客ができ、SLに関しても委員会メンバー内目標人数の4倍の集客することができました。米沢工業高校からお借りしたミニSLでしたが、今回は、お借りした物を米沢JCメンバーで運搬・設置・運転までするという作業の中で大変不安があった事業でしたが、無事に走りさせることが出来ました。また、不思議メガネの販売とココアの振る舞いに関しても大変ご好評を頂きました。例会最終日の片付けも夜遅くにも関わらず、数多くのメンバーにご協力頂き無事に撤収出来ました。

2日間の例会ではありましたが、怪我や事故もなく無事に終了できました。この例会に対し多くの外部団体のご協力と当青年会議所メンバーの皆様に心より感謝致します。

4.次年度への引継ぎ事項

- 木灯籠において大変時間の無い中で小学校へ絵画の依頼をしますが、毎年依頼に来るのが遅いということが言われています。今年は例年の反省点を踏まえて10月に各小学校に依頼しました。結果としては10月が良いと各小学校からの返答でした。また、絵画のテーマが毎年同じテーマだと助かるということでした。
- 今回は、米沢市の雪灯籠実行委員会のはじめの顔合わせの一度しかありませんでした。次年度は密に担当の方と直接アポを取り会場の説明、内容を打ち合わせしてください。
- 物販に関してですが、食品を販売する場合は雪灯籠実行委員会と連携をしてください。他の業者さまと重なる場合があります。業者さまが優先となります。
- 我妻建設、松尾建設さん等各種協力団体との打ち合わせを密にする手段取りがスムーズにいきます。
- SLが無料だったのですが、出来れば募金箱の設置をすれば良かったと思います。
- 理事会で役割を明白にしてくださいとの指摘があり、担当の方が当日来るのを確認して担当していただくよう

頼んだのですが当日欠席されてしまいました。メンバーに事業をきちんと内容を把握してもらい、周知したうえで事業を進めて下さい。

2012年2月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 佐藤美洋

1.例会の概要

「2月第2例会:山形ブロック協議会 会長 第4エリア公式訪問」

開催時期:平成25年2月19日

開催場所:南陽市 熊野大社 證誠殿 山形県南陽市宮内3476-1

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 28名(43.07%)

3.例会に対するコメント

米沢青年会議所より出向されております、加藤淳一副会長・鹿俣貴裕委員長の勇姿を目の当たりにし、山形ブロック協議会の頼もしさを再確認する事が出来た。日本青年会議所の方針を確認する事が出来た事は勿論、置賜4LOMの年間事業を確認する事が出来、今後の事業計画を立てていく上での良い材料とする事が出来た。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・出席率向上の為に、少しでも早めの情報発信を心掛けて下さい。
- ・2月という事もあり移動時間が天候に左右される事がありますので、早めの集合を心掛けて下さい。
- ・各LOMのPRタイムの時間を有効に活用して下さい。ブロックに働きかけをし、出来るだけ時間を配分し直して頂けると、より良い交流の場とする事ができると思います。

2013年3月 事業報告

委員会名:地域活性委員会

担当者:委員長 樋口 大

1.例会の概要

3月例会 救命講習会

開催時期:平成25年3月24日(日)

開催場所:福島県福島市 穴原温泉いづみや

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 34名(52.3%)

3.例会に対するコメント

今回、この講習を受講したメンバーの皆様から沢山の嬉しい言葉をいただきました。各々が命について真摯に向き合い、普段当たり前に生活出来ている喜びや、自分も誰かの命を救えるという自覚と責任の再認識ができたという声。特に、地域を担っていく青年経済人として、救命措置を習得することは必要な要素であり、地域住民や他団体の模範となるところである。という言葉までいただき、大変嬉しく思いました。

今回の事業目的の中で「社会的責任の自覚と資質向上」において、メンバーが真剣に講習に取り組んでいる姿に感じました。また、32名の方が「普通救命講習修了証」という資格を習得した事で、自分自身の資質向上だけでなく、「救命率の向上に繋げる」という部分においては、この地域内に救命措置を行える人が32名増えたという事実であり、普段の生活の中でいつ遭遇するか分からない緊急事態に対処できる人が増加したことは、社会貢献の面から見ても大変重要な事と思います。3.11以降、日本中の皆が命の尊さや絆を再認識しています。私たちは地域を担っていく一人として、率先して行動を起こし、炊き出しや支援活動を行ってきました。更に、今回命について学んだことで、これから活動していく中においても必ず必要となる知識・技術であり、また、一般市民や他団体へ発信して行きたいと感じました。3年後、現在の終了証が失効となる前に、今度は米沢青年会議所全員が受講できる様、それぞれが声を掛け合い誘い合って講習会を開催して頂きたいと思っております。

遠方ながら足を運んでいただき、皆様本当にありがとうございました

4.次年度への引継ぎ事項

講習は3時間フル受講での終了証発行となります。途中参加などは認定されませんので、事前案内においてメンバーに内容をしっかり説明し、少しでも多くの受講者が終了証を発行していただけるよう確認しながら進めて下さい。

2013年4月 事業報告

委員会名:M21 委員会

担当者:委員長 佐藤芳和

1.例会の概要

「4月委員会事業 第1回仮会員セミナー」

開催時期:平成 25 年 4 月 10 日

開催場所:東京第一ホテル米沢

2.参加者

正会員 65 名中 出席者数 35 名 (53.8%)

仮会員参加者 14 名

3.例会に対するコメント

第1回目の仮会員セミナーという事で、今年は例年に無い設えで初めて合う人間同士が気にせずどんどん交流出来る場として少人数のグループによる街づくりをテーマにしたディスカッションを行いました。セミナーの段階で現メンバーと仮会員との交流も深められ、また仮会員同士のコミュニケーションも図れたと思います。また、今回はアンケートを実施しまして仮会員の皆様から入会に対する、沢山前向きなご意見を頂けました。このアンケート結果を踏まえ、次回からのセミナーでは、案内を早く行い、一人でも多くの仮会員の皆様に参加して頂けるようにしたいと思います。理事者始め、ご協力頂きました現メンバーの皆様にご心より感謝申し上げます。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・受付時、現メンバーと仮会員の方が混乱しない様に受付の場所を変えると、スムーズに行くと思います。
- ・時間の限られている中でスムーズにセミナーを行える様に、事前準備・リハーサル等をしっかり行なって下さい
- ・会員募集要項は審議対象資料となるので早めの協議・審議を行なって下さい。
- ・議案上程を早めに行い、仮会員の皆様への案内を早め行なって下さい。
- ・次年度会員拡大が立ち上がった時点から定期的に会員拡大会議などを行い、新入会員候補者を現メンバー全員で行う様にしてください。

2013年4月 事業報告

委員会名:感動と笑顔の青少年育成委員会

担当者: 委員長 香坂洋平

1.例会の概要

4月公開講師例会「佐野有美氏講演会」

開催時期:平成25年4月13日(土)

開催場所:伝国の杜 置賜文化ホール

2.参加者

一般来場者 356名 (年齢:子供～お年寄りまで)

正会員 65名中 出席者数 52名(80%) 仮会員メンバー1名 計 409名

3.例会に対するコメント・事業報告

先行き不安な薄暗い世の中を明るくしたい、特に子供達が、どんな困難な状況下においても真正面から向き合う「あきらめない心」と「チャレンジ精神」を養い、また、これからの未来を生き抜く為に生かされている事への「感謝の気持ち」を育てて頂きたいと、熱い志を持ち、本事業の計画、段取り、実施と行いました。

4月13日日本番、佐野有美氏は、「特別じゃない 私がふつうの女の子として歩んできた23年」という演題で、持ち前のキラキラ明るい笑顔と、23歳とは思えないしっかりとした口調で会場に来て頂いた子供たちからお年寄りまで終始笑いの耐えない感じで公演会を進めてくれました。講演会の終盤には、サプライズ演出として、佐野有美氏の代表曲の「歩き続けよう」を東日本大震災で、米沢市に避難している人達でつくったサークル「ハッピー愛ランズ」と会場の皆様と一緒に歌い、お礼としてプレゼントをしました。このサプライズ演出の狙いは、歌詞にあるように、人は、大小関係無くさまざまな苦難や、問題を抱えている。しかし、みんなで励ましあいがんばっていこう。という事です。この瞬間、会場全体が1つになり、大きな「感動」が起きました。会場の皆様からのアンケートには、「勇気つけられた」「人生の励みになりました」「考え方が変わりました」「感動した」などのお言葉を頂き、さまざまな点から心のケアが出来たと思います。さらに、佐野有美氏からも「とても刺激を頂きました」「米沢で講演会を行ってとても良かった」「また米沢に来たい」とのお言葉を頂きました。「佐野有美氏側にも勇気つけたい」さらに明るく素敵な笑顔を全国に振舞って頂きたいと考えた、もう一つの目標も達成出来ました。さらに、この事業を実施した私達JCメンバーもとても心が温かくなりました。

そして4月13日に会場で募金活動を行い集まった28,080円と事業費の残りと合わせ計43,970円で車椅子1台を購入し、5月21日「米沢市立病院」に理事長等と共に寄贈させて頂き、マスコミ、米沢青年会議所のホームページ、Facebookを通してご報告させて頂きました。ここまでの一連の事業を通して、アンケート回収結果や、その後の反応から見ても、米沢市、川西町の市民の皆様にも我々米沢青年会議所の活動が、精神的、社会的規範となる「率先垂範」を示し、ご理解頂けたと確信しております。

最後に本例会に対し多くの部外団体のご協力と当青年会議所メンバーに対し心より熱く御礼、感謝申し上げます。ありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・マスコミ等の打ち合わせは、断られるのを恐れず前もって打ち合わせしとかなないと、当日大変なことになります。
- ・外用ポスターパネルは強風時は、ビニールテープ、雨天時はラミネート等に対応しなければならない。
- ・アンケート回収結果にもあるように会場全体で盛り上がる演出等がある場合はメンバーが率先して盛り上がりなければならない
- ・伝国の杜置賜文化ホールでの事業では我々も実践しましたが、正面の喫煙所でのメンバーや関係者の喫煙は良い印象を与えない為、裏口等の喫煙所を利用した方が良い。

2013年5月 事業報告

委員会名:M21 委員会

担当者:委員長 佐藤芳和

1.例会の概要

「5月委員会事業 第2回仮会員セミナー」

開催時期:平成 25 年 5 月 14 日

開催場所:招湯苑

2.参加者

正会員 65 名中 出席者数 31 名(47.6%)

仮会員参加者 31 名

3.例会に対するコメント

今回のセミナーは第一回で懇親を深めた仮会員に対し次のステップとして青年会議所の本質を知って頂ける事を目的としました。当日は第一回セミナーで我々の活動に共感をもって頂いた仮会員や、メンバーの懸命な声掛けもあり、31名と大変多くの仮会員の皆様にご参加頂きました。各LOMの青年会議所活動を総括しその見識を発信できる方に講師となって頂きたく、遠方より山形ブロック協議会会長鹿又源州君をお招きしてご講演いただき、鹿又会長の経験や信念を仮会員へ分かりやすくお話くださりました。青年会議所の在り方や社会における役割などを伝えると同時に仮会員の気持ちを奮い立たせて頂き、第3回セミナーへつなげる事が出来ました。またその熱意は、仮会員はもとより我々メンバーにも改めて活動の意味を気付かせて頂き、とても良い刺激になったのではないかと思います。

またオブザーバーとして会員拡大会議に引き続き、山形ブロック協議会副会長 鈴木篤君そして奄美大島青年会議所より安永香織君にお越し頂き、仮会員の皆様にむけ激励を頂戴しました。懇親会の場でも鹿又ブロック会長や鈴木副会長が自ら仮会員一人一人に声掛けをされ、仮会員の不安を払拭し、入会に繋がるようコミュニケーションを図って頂きました。鈴木副会長には当委員会と家族のように接して頂き、日頃の活動においても激励やアドバイスを頂戴しました。さらに21名獲得に向けたモチベーションの向上維持に結び付けて頂きました。毎回、遠く米沢までお越しただけの事に大変感謝しております。また1回目同様、セミナー後にアンケートを行い、仮会員の皆様から率直なご意見を頂きました。このアンケート集計を踏まえ、更に一人でも多くの仮会員の皆様に3回目セミナー参加して頂ける様、委員会メンバー一同努力します。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・定員に余裕を持って会場選定を行って下さい。
- ・当日の受付をメンバーと仮会員を分けて行って下さい。
- ・講師を呼ぶ際には事前に講師と綿密に打ち合わせを行って下さい。
- ・当日のリハーサルは早めに集まりしっかりと行って下さい。

2013年5月 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

5月例会 宮城県亘理町被災地支援事業

開催時期:平成25年5月19日

開催場所:宮城県亘理町 旧館仮設住宅内 集会所

2.参加者

正会員65名中 出席者数33名(50.7%)

3.例会に対するコメント

今回、被災地支援事業を行うにあたり情報収集から始めました。実際に聞き取りや被災地の現地視察を行ってみるとテレビやメディアで報道されていた「いつまでも被災地と呼ばないで欲しい、ボランティアはもう必要ない」等の報道とはだいぶ違っており大変驚きました。また、逆に「一向に復興が進んでいない」と言われてる情報も違っていました。被災地の人々は不自由な生活をしながらも懸命に前を向いて頑張っていました。その現実を目の当たりにした時、この地で頑張っている人を応援したい。そしてメンバーにも見てもらい共に出来る事をこの地で行いたいと思いました。亘理町役場からの要望を聞きながら元気の出るような事、心の通う温かな支援の形を目指し今回のもちつき大会を企画しました。一人でも多くの人に集まって頂きたいと思いポスターを作りチラシのポスティングも二度行いました。それでも本当に集まって下さるのか不安でしたが前日に搬入に行く住民の方々がとても楽しみにされていました。

当日、心配していた天候にも恵まれ威勢の良いもちつきの掛け声や笑い声が響き終始和やかなもちつき大会となりました。おもち、漬け物、ポップコーンも気に入って頂け、また十分な量を準備したのでおかわりの声や帰りたいという声にも応える事が出来ました。思考を凝らしたバルーンアートやハンドマッサージも好評で何度も練習を行った甲斐がありました。メンバーも各担当チーム毎に準備から後片付けまでスムーズに臨機応変に対応して頂きました。集会所の職員の方のお話しによりますと住民の方はほぼ参加されたとの事。また身体が不自由で出て来れない方へは宅配して頂きほぼ全員にふるまう事が出来ました。最後、ハンドマッサージからの座談会ではメンバーの自己紹介を行い大変盛り上がり目指していた心の通う温かな事業となったと感じました。最後まで残って下さったのが女性のみで男性がいなかったのが心残りでしたがバスの見送りをして下さった時には男性の姿もありこの事業を楽しんで下さったのではないかと感じました。

今回現地に向かうの事業は大変ではありましたが被災地を自分の目で見て感じる事によりこれから私たちが出来る事やすべき事を考えるきっかけとなり、そして何よりも自分の目で見たものは忘れないのではないかと思います。震災直後から続けて来た宮城県亘理町の支援はその都度時々で良い形での支援を考え復興したと言われるその時まで永く続けて行きたいと思えます。最後にご協力下さいました理事長はじめ理事者、メンバーの皆様本当にありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- 今回はもちと半付きの状態とを準備して行きました。もちつきをしている間にふるまいの準備を進められたのでとてもスムーズでした。尚、半付きは9升を準備していき、3升ずつ三回に分けて餅つきを行いました。時間的・タイミング的にはこの量で調度良く、問題ないようです。訪れる仮設住宅の規模に応じて量は決めて下さい。
- 今回は日程が合わず行いませんでしたが被災地でのお祭りへの参加なども良いと思います。
- 社協さんから、ポップコーンの機械や、バスをお借りする場合は事前にしっかり確認したほうが良いです。
- 雑煮があったほうが良かったが、キッチンの規模や、電気・ガスのコスト、手間なども考えると、今回行ったマツタケの御吸物にもちを入れる方法がベストだと思われます。

2013年6月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:会務セクレタリー 木原大樹

1.例会の概要

6月例会 「ふるさとOMIYARIプロジェクト 2013」

開催時期:平成25年6月9日

開催場所:松川河川敷周辺

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 36名 (55%)

3.例会に対するコメント

当日は、天候にも恵まれ、沢山の市民の方にお出で頂き、150名近くでの清掃活動となりました。米沢地区は川中島の合戦や体育行事等で米沢市民に馴染みの深い、松川河川敷での清掃活動となりました。短い時間での活動ではありましたが、ただ清掃活動をするということに留まらず、清掃活動を通して地域に広く深く「思いやりの心」「思いやりの輪」を広げることができた実感しております。私たちが住むこの米沢という土地に、これからもっと思いやりを注いでいけるよう、ふるさと米沢と向き合うそんな有意義なひと時になったのではないのでしょうか。皆様のご参加、そしてご協力どうもありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- 清掃エリアの案内不足で対岸も対象エリアに設定していたが清掃する人がほとんどいなかった。
- 人数編成をおおまかな数で行ったため(1チーム6、7人編成のチームがあった)表彰式の際の景品が足りなくなった。
- 当日暑さ対策、雨対策でテントを1梁位は用意しても良かった。

2013年6月 事業報告

委員会名:M21 委員会

担当者:委員長 佐藤芳和

1.例会の概要

「6月委員会事業 第3回仮会員セミナー」

開催時期:平成25年6月27日

開催場所:臨泉閣

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 35名 (53.8%)

仮会員参加者 14名

3.例会に対するコメント

第3回目の仮会員セミナーという事で、渋間佳寿美先輩をお招きし、「今、地域に求められている若者とは」と題して講演をいただきました。志を高く持つ事で信念ある活動に繋がり、普段のモチベーションを高く持ち続けられる事を仮会員と共にメンバー全員で学ぶことが出来ました。

セミナー終了後には理事長面談を行い仮会員9名の入会を頂くこととなりました。また当日出席できなかった方で6名の内定者を確保することが出来ました。これは3回行なったセミナーを通して「明るい豊かな社会を築いていくために、我々米沢青年会議所が地域のリーダー役とならなければならない」ことを仮会員へ向けて訴え続けた結果ではないでしょうか。さらに今回の講演で、地域活性化、青少年育成をはじめとするまちづくりの重要性、必要性はもとより、地域リーダーとしての資質や考え方、心得といった事を発信していただき、仮会員やメンバー一同で共有できました。

懇親会では仮会員の皆さんと地域の課題や理想の未来像について大いに語り合うことができました。この勢いのまま、目標の21名入会に向け委員会一同さらに努力致します。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・理事長面談中の空き時間の活用法を考えてください。
- ・入会決定の方はその場で顔写真を撮影しておいた方がその後のバッチ贈呈式の準備がスムーズに出来ます。

2013年7月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局次長 佐藤 大介

1.例会の概要

7月第一例会 2013年度第46回山形ブロック大会寒河江大会

開催時期:平成25年7月6日

開催場所

《式典》寒河江市文化センター内 市民文化会館大ホール

《分科会》寒河江市文化センター内 中央公民館内各研修室

《メインフォーラム》ホテルシンフォニーアネックス

《やまがた たからいち〜^{きぼうさい}輝宝祭in寒河江〜(仮称)》最上川ふるさと総合公園内 イベント広場

《防災・減災フェスタ》《献血・骨髄バンクドナー登録コーナー(OMOIYARIプロジェクトの一環)》

最上川ふるさと総合公園内 ゲート広場

2.参加者

正会員 65名中 出席者数 29名(44.6%)

3.例会に対するコメント

土・日と2日間の開催にもかかわらず、さらに山形県のどまんなか寒河江の地までお越しいただいての活動にご協力いただいた事心より感謝申し上げます。

1日目の分科会では、相田塾長、平田幹事をはじめアカデミー出向メンバーや山形未来創造選択委員会の遠藤君が活躍している姿に参加メンバーも大変感動いたしました。2日目はメインフォーラムで名コーディネーター役の加藤淳一君、名プレゼンを務めた吉澤匡君をはじめ地域連携復興委員会の嵐田君、高野君の活躍も同じ青年会議所メンバーとしてとても頼もしく感じました。その他にも、アカデミーによるブース出展(1日目の内容の展示)、鹿俣君が防災フェスタの起震車受付、木原君が献血骨髄バンクドナー推進担当、嵐田君が防災フェスタ全般担当で頑張っていました。ブロック大会委員として本年も出向している中村智和君も大変頑張っていました。出向メンバーの皆さま大変お疲れさまでした。

出向者が活躍している姿を見られる機会ですので、より多くのメンバーに参加していただいてLOM内だけでなくブロック出向の魅力を感じ取っていただきたいと思います。また、たからいちでは、本年もミートピアの黄木先輩にご協力いただき、牛串も400本完売と皆さまのご協力のもと今年も大変好評を頂きました。上郷エイサーの皆さまにもご出演頂き米沢の魅力を広くお伝えできたと思います。

この大会を経て、ブロックメンバーそしてLOMメンバーの結びつきがまた一段と強くなったのではないのでしょうか。そう感じた2日間でした。

4.次年度への引継ぎ事項

・宿泊地は参加メンバーが確定する前にある程度抑えておく必要があると思います。

- ・来年もミートピアさんにご協力するのであれば、牛串は人気のため、今年以上の準備が望ましいと思います。
- ・普段は見れない出向者へスポットが当たる例会です。LOMより出向してるメンバーの勇姿をより多くのメンバーで応援に行けるよう委員長と協力し働きかけてください。
- ・会員拡大委員会と連携を図り、多くの仮会員の参加ができるように声掛けを行ってください。

2013年7月 事業報告

委員会名:地域活性委員会

担当者:委員長 樋口 大

1.例会の概要

7月第2例会 「 MUSIC FESTIVAL 2013 」

開催時期:平成25年7月28日(日)

開催場所:米沢市 松川河川敷 運動広場・自由広場

2.参加者

正会員65名中 出席者数55名(84.6%)

3.例会に対するコメント

米沢青年会議所の継続事業として2010年より開催している「MUSICFESTIVAL」ですが、今年も4回目を成功裏に終えることができました。また、本年度においては、米沢商工会議所青年部主催の「Y-1グルメグランプリ」と合同開催したわけですが、地域活性化に日々活動している地元青年団体としては初の試みでありました。志の同じ団体が協働する大変意義のある事業に成長出来た事により、イベントの内容が何倍もの相乗効果を生み出し、米沢の街の活性化への寄与のみならず、地域住民の皆様にも大いに楽しんで頂けたイベントとなりました。

米沢では「四季のまつり」として観光客誘致を図っており、年間を通して沢山のお祭りがあります。しかし、現在のところ「夏」の部分の内容が薄く感じられます。今回の事業では、地域の青年団体が交流し協力して創りあげたオリジナルの事業でしたが、今後地域住民の方々や市の協力が増えれば、「夏祭り」の部分を担える発展性や可能性は無限だと感じました。また、集客の面においても、置賜地域以外や県外からの来場もあり、規模拡大などの発展と共に事業の認知が浸透していけば、確実に集客増加も見込めると考えます。この事業では、地域の活性化のみならず、世代間交流や地域間の交流の活性化へ発展させる事も目的としております。地域住民や他県からの学生・社会人と共に協力し合い、より良い事業へ発展していく事が「郷土愛と地域活性化の精神を持った人材」を育むことができると思います。この米沢の魅力を感じ、自ら積極的に街づくりに参加できる若者を作ることが街の力を底上げしていく原動力となるはずで

次回、またその次へ、米沢の夏のシンボル事業として展開していけるよう繋いで頂きたいと思っております。今回の事業について、ご支援・御協力いただいた全てのメンバーの方々や関係企業の皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・ 実行委員会が上手く機能し、担当毎にスムーズなやりとりや連携が出来ました。しかし、人員募集に時間がかかってしまい今年のMフェスの内容が固まった上での実行委員会開催となりました。次年度体制においては実行委員会内でのアイデアや手法を上手く取り入れていけるよう、早めの組織や体制づくりをして頂きたいと思います。
- ・ 商工会議所青年部の任期が4月～3月までのため、具体的な打合せ時期が5月辺りからとなってしまう。委員会や実行委員会内でアウトラインを早めに決定し、様々な問題にも対応できるよう準備期間を長めに取った方がよいと思います。また、実施日時については初めからの議題として打合せしてください。
- ・ 許可申請関係や警察との打合せ、協力企業とのアポイントなど、YEGとの担当役割をしっかりと初めに決めてから動くともっとスムーズに連携できると思います。
- ・ 同一敷地での2つの事業開催のため、テント数量や機材が多く、前日準備や後片付けに時間がかかります。また、テントにおいてはY-1の設置数はかなり多く、JCの方でも手の空いてる人達が手伝っていた光景は大変素晴らしく思いました。来年もまた相互に思いやり合いながら協力し進めて頂きたいです。
- ・ 日本一高校生バンドのオファーについて、「teens rock fes」は毎年5月半ばに開催されます。優勝バンドはその後のスケジュールが特に夏休み期間中は過密となります。早めにひたちなかJCの方々に連絡をとっていただき、日時の調整や担当者との打合せをして頂きたいです。
- ・ 近隣対策として、周知チラシを周辺住民の方々へお配りしました。皆様とても寛容でしたが、一件だけホテル平成の辺りの方からクレームがありました。音が反響し、会場南側方面へも届くようです。次回においては万里橋周辺においても周知した方がよいと思います。

2013年8月 事業報告

委員会名:M21 委員会

担当者:委員長 佐藤 芳和

1.例会の概要

「新入会員バッジ贈呈式並びに次年度理事長当選者挨拶」

開催時期:平成 25 年 8 月 5 日

開催場所:米沢市中央公民館

2.参加者

正会員 65 名中 出席者数 50 名(76.9%)

新入会員 18 名

3.例会に対するコメント

新入会員22名の内18名に参加して頂き、理事長よりバッジを贈呈して頂きました。前年度の引継ぎ事項を踏まえ当日は早めに集合して、リハーサルを行なった結果、スムーズに進行出来ました。

今年度は、会員拡大会議や会員拡大の日を制定してメンバーの皆様より数多くの新入会員をご紹介いただきました。また、仮会員セミナー等の企画立案に日々ご協力いただいた委員会メンバーを含む全てのメンバーに心より感謝申し上げます。目標である新入会員21名獲得を目指し、全力で駆け抜けてきました。新入会員22名を迎えながらバッジ贈呈を無事終えることが出来たこと、そして、目標を達成できたことを嬉しく思います。しかし、ここで気を抜くことなく新入会員がより早く米沢青年会議所の一員として順応出来る様、新入会員オリエンテーション交流会など企画・立案して参ります。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・新入会員の参加人数により、バッジ贈呈の時間が長くなる場合があるので、出来る限り早めに出席確認をしてスケジュールに反映させて下さい。
- ・当日は早めに集合してリハーサルを行い、本番ではスムーズに進行出来る様にして下さい。
- ・新入会員の情報(顔写真・抱負など)を早めに入手して新入会員紹介の準備をして下さい。

2013年8月 事業報告

委員会名:感動と笑顔の青少年育成委員会

担当者:委員長 香坂洋平

1. 例会の概要

「ワクワク！！冒険サマーキャンプ 2013」～感動の先にレベルアップ～

開催時期:平成 25 年 8 月 8 日(木) ～ 9 日(金)

開催場所:飯豊少年自然の家 川西町農業環境改善センター(2日目)

2.参加者

正会員 87 名中 出席者数 39 名(44.8%)

参加児童 78 名

3.例会に対するコメント

子供達にとっては楽しい夏休み。その夏休みに最高の体験をしてほしい。その体験や感動をこれからの生活に役立ててほしい。そして最高の夏休みの思い出にしてほしいと熱い志を持って、子供達だけのそれも小学生全学年対象という引率者泣かせの過酷な条件での企画・運営・実施と行いました。当初、定員 50 名に対し、募集開始から 1 週間で 50 名を超えた為、急遽+20 名で対応致しました。結局2週間で70名を超えて募集を締め切りました。それほど、我々の JC キャンプに期待しているのだとプレッシャーを感じつつ本番を迎えました。

熱すぎる晴天の中、メインテーマは「冒険」とし、報酬マネーを配り子供達のワクワクを高めながら、「協力の大事さ」「ありがとうの心」を中心とした道徳心を育てました。さらに夜には「徳育セミナー」を実施し、家族に対する「ありがとう」をみんなで考えました。2 日目は、魚のつかみ取りを実施し、命をつなぐ大事さ「ありがとう」を学んでいただきました。最初は、報酬マネー欲しさの良い行動を取っていた子供達も、途中から、当たり前「協力・ありがとう」等の行動をとり、どんどんレベルアップしていく姿を見せてくれました。

過酷な内容の 2 日間の冒険を終えた子供達は、疲れた表情の中にもやり遂げた達成感とお迎えに来た保護者への自慢の表情を浮かべ、家族に戻ってからも家族との会話がさぞ盛り上がったことでしょう。また、家族に対するありがとうを実践してくれたでしょう。そしてそのお礼のお言葉もたくさん頂戴いたしました。

この事業にいろいろな面でご協力して頂いた関係各位に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・米沢市教育委員会、川西町教育委員会を通じて案内チラシを配布しましたが、各学校までの到達時間が違いあるため、時間に余裕を持ち、募集期間の開始を定めた方がより平等になります。
- ・飯豊少年自然の家では、炊飯・就寝場所と駐車場(備品置き場)がかなり離れている為、メンバー(スタッフ)の体力に自信がなければ、許可をとり軽トラックやスクーター等を準備したら楽になります。
- ・キャンプ場は電源がない為、携帯電話の充電が足りなくなる為、考えた方がよい。
- ・子供達だけのキャンプの場合、Facebook等を使って親への更新係を決め、随時報告するとよい。

2013年8月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 佐藤美洋

1.例会の概要

「青年部サミット 2013」

開催時期:平成 25 年 8 月 28 日

開催場所:東京第一ホテル米沢

2.参加者

正会員 87 名中 出席者数 38 名(43.67%)

3.例会に対するコメント

「青年部サミット 2013」へのご協力、ご参加、誠にありがとうございました。昨年の米沢商工会議所青年部様の第 1 回の主催に引き続き、第 2 回開催を主催させて頂くにあたり、参加団体会員皆様の今後の活動の糧となる様な事業を心掛け、企画させて頂きました。

第 1 部、パネルディスカッションに関しましては、特別ゲストの米沢市役所の皆様をはじめ、各団体の長の皆様には、アンケートのご協力から、当日のパネリストとしてのご参加まで、本当に沢山のご協力頂きました。他団体があつてこそその事業でしたので、各参加団体との打合せを重ねていく中で、大変な部分も多々ありましたが、快くご協力頂きました事、深く感謝致します。第 2 部、名刺交換会・交流会におきましては、第 1 部に引き続き、各団体より多数のご参加を頂きました。各団体の PR タイムにおいては、当会の情熱を感じて頂ければと思っておりましたが、それ以上の情熱を頂く事となりました。「次代を担うために地域で活躍する青年団体等を一堂に会し、活動や業種などの垣根を超越した交流を行うことで相互理解を深め、地域内ネットワークの構築とコミュニケーションを図る。将来的には、総合的な地域づくりや、農工商、新事業など新たな連携による展開も期待したい。」という開催趣旨は全くできたのではないかと考えております。次回、第 3 回開催におきましては、一般社団法人米沢観光物産協会青年部様が快くお引き受け頂きました。本サミットへの出来る限りの協力を次年度以降にも宜しく願い出来ればと思います。

次代の若者により良い米沢市を繋ぐ事は、我々、若者の使命であると考えます。各参加団体の分野が違うからこそ、それぞれの分野での事業が更に発展し、今よりもより一層の相互理解、連携を模索していく事が可能であると実感する事ができました。

4.次年度への引継ぎ事項

- 団体によっては、繁忙期と重なる恐れがある為、各団体への予告・呼びかけは早い段階で行う様にして下さい。
- パネルディスカッションを行う場合、タイムスケジュールに余裕を持って組んでください。出来るのであれば、時間の伸縮が可能な部分を作っておくと、より良いと思います。
- 次年度は、一般社団法人米沢観光物産協会青年部が主催となります。本年度も多数のご参加を頂いておりますので、出来る限りのご協力をお願い致します。

2013年9月 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

9月例会 第104回通常総会

開催時期:平成25年9月12日

開催場所:グランドホクヨウ米沢

2.参加者

正会員 87名中 出席者数 87名(100%)

※うち委任状出席者 37名(42.5%)

3.例会に対するコメント

第104回定時総会を無事に終える事が出来ました。大変タイトな時間割りでしたが細かなタイムスケジュールを組んで事前によく打ち合わせを行いリハーサルを行った事により概ね予定通りに行う事が出来ました。

委任状の回収につきましても各委員長・事務局長から協力して頂き余裕を持って回収する事が出来ました。1月の総会では当日郵送で届くといったギリギリな事がありましたが今回はそれを踏まえて早めに動く事が出来ました。新入会員にとっては初めての総会でしたがペーパーレスでの進行も問題なく、また、出向者代表による報告会も大変わかりやすくお話し頂いたので理解出来たようです。

事務局との連携でトラブルもなくスムーズに進行する事が出来ました。時間配分等ご協力頂きありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- どうしても時間が押してしまうためタイムスケジュールは綿密に組みリハーサルは必ず行って下さい。可能であれば時間にはゆとりを持たせた方が良いでしょう。
- 当日の病欠もありますので委任状の回収は必ず行って下さい。

2013年9月 事業報告

委員会名:本気づくり委員会

担当者:委員長 梅津 義範

1.例会の概要

まちづくりプロジェクト 2013 「逢いべ！赤いいとコン！」

開催時期:平成 25 年 9 月 21 日

開催場所:米沢中心地、協力店舗 10 店舗、米沢市民文化会館、東京第一ホテル米沢

2.参加者

正会員 86 名中 出席者数 44 名 公欠1名 (52%)

3.例会に対するコメント

今年度、最後の対外事業となる例会を担当し、5 月より準備を重ねて来ました。地域活性化と男女の出会いの創造を事業目的とした街コンを米沢青年会議所で初めて開催しました。準備段階でホームページ作製、ポスター作製、ネットでの登録制のお申し込みが、なかなか上手く行きませんでした。このような婚活イベントが、まだ認知されていないのも参加し難い原因の一つだと思いました。しかし、委員会による会議を重ねたことで、例会が近づくにつれ運営方法も改善し、参加者も徐々に増えていき、さらにメンバーの多大なるご協力のもと認知度も上り、男性参加者は予定より早く定員数に達し女性参加者も苦労の末、97 名と男女のバランスが大変良い状態で例会当日を迎えることが出来ました。

当日は、すべてが時間通りに進み、カップリングを行う時の集計は時間がかかると思っていたのですが、終了時間丁度に終われたことには本当に感動しました。シュミレーションを重ねた結果が現れたのだと感じました。各店舗では、市の街コンで学んだことを生かすことで、とてもスムーズに進行することができ、各店舗の所属メンバーにもご協力頂いたことで滞りなく終了することが出来ました。各協力店舗にも、当日限定郷土料理メニューを出して頂き、他の街コンとは違う形を表現出来ました。東京第一ホテル米沢でのフィーリングチャンスでは、実に 9 割近い参加者に来場頂き、熱気溢れる場となりました。そんな中、40 分間のフリータイムを行い、その結果 2 割近い 18 組のカップリングに成功し、抽選会も盛り上がりを見せ無事に例会を終える事が出来ました。

各協力店舗からは、継続的にやって欲しいという意見や参加者アンケートを見ても、今後も同じようなイベントがあれば参加したいと考えていられる方が多いことと、公益社団法人米沢青年会議所メンバーにも「大変良い事業でした」「とても楽しい事業だった」など言って頂き高い評価を得ることが出来ました。後日、市民より「参加すれば良かったなど」の声が聞こえて来ております。

米沢の街に 200 名もの若者が溢れ、我々の懇親会後も参加者同士で協力店、中心市街地で飲食される方がおられ、出会いの場を提供でき地域の活性に繋がられたということは、とても需要のあるイベントだと思いました。事業目的でもある出会いの場提供と、地域活性が達成出来た事は大変嬉しく、とても有意義な事業となりました。幾度となく予想外の出来事、問題が発生し、何度も挫けそうになり、幾度も心が折れ掛かけ逃げたことがありましたが、この事業の運営を委員会メンバー一丸となり最後までやり遂げた事は私にとって良い経験であり宝となりました。

最後に私が以前から開催したいと思っておりました、この事業にご理解を頂き、ご協力して頂いた理事者を始めとするメンバーの皆様、そして何より担当副理事長と委員会メンバーの皆様に深く感謝致します。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・告知開始はなるべく早く出来るだけ広域に、特に女性の参加者に有利な条件にするようにしましょう。
- ・参加者への参加登録証のハガキですが、送って欲しくない方が居ました。ハガキをチケットにするか、封書にして同伴者と一緒に配送するなどの配慮が必要でしょう。
- ・ネットでの申し込みは必要ですが、用紙での申し込みも、始めから女性限定であればいいでしょう。
- ・受付から店舗移動の時間が短かったようです。もう少し余裕を取りましょう。
- ・フェイスブック等 SNS をもう少しきちんと活用できれば告知活動に効果的です。
- ・各店舗との連携を密に取り問題が起こらないようにしてください。
- ・事業で携帯電話の番号を記載する場合は、イベント専用の携帯電話を使うようにして下さい。
- ・参加者の登録管理、登録料の管理をなるべく当日のお金の受取が無いように振込以外のお金の管理が有っても良いのかもしれませんが。
- ・中心市街地だけでは無く違った形もあります。その時の状況に応じてイベントを考えて下さい。
- ・街コンは女性の参加者が恥ずかしいなどの理由で集まりにくい傾向がありますので、女性参加募集の工夫をしてください。男女の参加者の比率 10:8 以上で開催してください。
- ・事業を円滑に進めるため、各飲食店や JC メンバーに事前説明会を行ってください。
- ・男性、女性ともに 2 名での参加申し込みにしてください。1 名でも可能は絶対にしないでください。1 名での参加はすべてにおいて事業が円滑に進みません。
- ・年齢は 40 歳までにしたほうが望ましい。
- ・各飲食店担当メンバーとの連絡方法として、LINE やツイッターなどリアルタイムで連絡を取れる手段を活用してください。

2013年10月 事業報告

委員会名:事務局

担当者:事務局長 佐藤美洋

1.例会の概要

「置賜4LOM合同例会」

開催時期:平成25年10月17日

開催場所:熊野大社證誠殿

2.参加者

正会員 87名中 出席者数 33名 (37.93%)

3.例会に対するコメント

毎年恒例の置賜4LOM合同例会ですが、今年は南陽さんの主催のもとに行われました。矢部亨氏の講演においては、災害時における青年会議所の初動段階での役割を再確認する事ができたのは勿論、復興に対しての今後の青年会議所活動の糧とする事ができたと考えます。

懇親会の場においては、各LOMの今年度の事業報告を通して、置賜の力強さを感じる事ができたのは勿論、今後の事業構築の糧にする事ができると考えます。また、次年度体制の報告もあり、1年の速さを痛感すると共に、不連続の連続と言われる青年会議所のたくましさを感じる事が出来ました。

4.次年度への引継ぎ事項

・参加数が増える様、早めの出欠確認、各委員会への呼びかけを行う様にして下さい。

2013年11月 事業報告

委員会名:M21委員会

担当者:委員長 佐藤 芳和

1.例会の概要

「11月家族例会」

開催時期:平成25年11月24日

開催場所:グランドホクヨウ米沢

2.参加者

正会員8名中 出席者数49名(56.3%) 事務員1名

奥様16名 お子様33名

3.例会に対するコメント

今年も多くメンバー・ご家族に参加して頂きまして無事にクリスマスパーティーを終える事が出来ました。新入会員の一同による余興においては、週に一度、新入会員同志が集まり着々と準備をしていく中で、日に日に結束力が深まっていく姿が見受けられました。本番ではこれまでの成果を見事に体現し、厳しいタイムスケジュールでの余興のなかでは素晴らしい団結を見せてくれた姿に感動しました。新入会員が自ら発案したものを発表する喜びも感じられたのではないのでしょうか。今回は、ご来場いただいたご家族・お子様に楽しんで頂けるよう、メロメバンド演奏や昔遊びなど楽しい設えを企画・演出させて頂きました。メロメバンド演奏では会場全体が一つとなり、盛り上がる事ができ、また、奥様への花束贈呈の場面では、普段見れないメンバーの恥ずかしそうな顔がとても印象的でした。今回の家族例会で日頃大変お世話になっているご家族の皆様にもメンバーそれぞれが感謝の気持ちを伝えられたと確信しております。

今回の例会で、最後の事業となりました。新入会員の募集から始まり、仮会員セミナー、やり舞、家族例会まで含め、本年度は6事業を行いました。皆様にご協力と叱咤激励を頂きながら、このM21委員会が突き進む事が出来ました。理事者を始めとするメンバーの皆様にも心より感謝申し上げます。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・家族向けに設定した登録料が、実際の会場費(料理)よりも安い金額となっております。値上げも検討して下さい。
- ・メンバーの参加率が低いので、一人でも参加しやすいような設えをお願いします。
- ・新入会員による余興の準備がかなりタイトな日程となりました。早めの声掛けをお願い致します。
- ・本番当日、早めに会場に入り一連のリハーサルを行うとスムーズに進行出来ると思います。

2013年12月 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

ラストスピーチ・卒業式

開催時期:平成25年12月7日

開催場所:上杉神社 臨泉閣

2.参加者

正会員 87名中 出席者数 51名(58.6%)

3.例会に対するコメント

卒業生が10年後、20年後に振り返っても懐かしく思い出して頂けるような記憶に残るラストスピーチ・卒業式を設えたいと思い今回異例の設えをさせていただきました。

まずはこのまちを代表する歴史ある上杉神社でのご祈祷は長年JC活動でまちづくりの為に尽力されて来た卒業生への感謝と労いの気持ち。そして厄を払い除け安心して飛躍出来ますように祈りを込めました。ラストスピーチでは卒業生に気持ち良く話し頂けるように、そして入会年数の浅いメンバーや新入会員でもその方の歴史がわかるようにスライドショーの構成に力を入れました。卒業生からは予定時間を上回る程に情熱的で心のこもったスピーチを頂く事が出来、現役メンバーはこれからのJCライフの糧となった事と思います。また、終始笑い声の絶えないとても和やかな雰囲気にもまれ進行出来ました事嬉しく思いました。結果的に終了時間が大幅に押ししまい大変申し訳ありませんでしたがご祈祷、ラストスピーチ・卒業式と懇親会とを通して卒業生、メンバー共に良い思い出となりましたら幸いです。

最後にこのような異例の設営に賛同して頂き沢山のご協力・お力添えを下さいました理事長をはじめとする理事の皆様、本当にありがとうございました。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・ スピーチ前や入場時などに、スライドショーや音楽などの演出を入れると更に気分も盛り上がると思います。
- ・ 卒業生やメンバーには早めの案内、声掛けを怠らないようにして下さい。
- ・ 余裕のあるタイムスケジュールを組んで下さい。
- ・ 次回のラストスピーチを見込んで卒業生の写真を積極的に撮ると良いです。

2013年ホームページ運営 事業報告

委員会名:ときめき総務広報委員会

担当者:委員長 鈴木ゆかり

1.例会の概要

「2013年度 公益社団法人米沢青年会議所ホームページ運営」

開催時期:平成25年第103回通常総会終了後より、平成26年第105回通常総会まで

開催場所:特になし

2.参加者

特になし

3.例会に対するコメント

まず、今年度スタートと同時にHPも年度替えなるべきでしたが大幅に遅くなりました事をお詫び致します。迅速な情報公開を目指していましたがそれが叶わず無念であり、広報を担当する者として反省しております。大変ご迷惑をお掛けしました。

今年度はホームページの他に新しくfacebookを併せて行いました。ホームページでは主に事業報告を、タイムリーな現在進行形な情報はfacebookから情報を発信し雪灯籠祭りや講演会、ミュージックフェスティバル等の集客に力を入れました。特にサマーキャンプでは子供たちの元気な様子を確認出来て安心出来たと感謝の声が寄せられました。ホームページとfacebookを比較するとfacebookは一般の方が声を寄せやすいようです。

インターネットやSNSの活用が他LOMや一般市民に米沢青年会議所を理解して頂くのに役立つという事、さらには会員拡大に繋がるという事を実感しました。そのためにも正しい情報公開、プライバシーの保護、迅速な対応が必要だと思いました。

4.次年度への引継ぎ事項

- ・現在のホームページを引き続き使用するかよく検討して下さい。引き続き使用する場合は管理会社と念入りに打ち合わせをして下さい。

2014年度
(平成26年度)

事業及び収支予算計画書

公益社団法人 米沢青年会議所
自 2014年 1月 1日
至 2014年 12月 31日

2014年度スローガン

米沢 JC スローガン

己を律し凛然と未来へ 信頼と「結」の社会による 魅力ある郷土の実現

日本 JC スローガン

取り戻せ、日本の矜持を！

東北地区協議会スローガン

「結」の精神が満ちあふれる 自立した新東北の実現

山形ブロック協議会スローガン

JAYCEEとしての矜持を持とう 明るく活力に満ちた「やまがた」の実現

公益社団法人 米沢青年会議所
2014年度 理事長所信

公益社団法人 米沢青年会議所
白井 裕久

【はじめに】

私たちの愛するまち米沢は急峻な山脈・山地、四季折々に彩られる美しい豊かな自然、また祭りや雪国独自の文化資源が点在している地域であります。その一方で、懸念するところが顕在化しているのも周知の事実であります。少子高齢化問題、リーマンショックの影響による景気の悪化、そして何よりも未曾有と言われる2011年3月11日に発災した東日本大震災を境に私たちの取り巻く環境は一変しました。このような社会情勢の中でこの地域に住む人々は何を思い、何を感じているのでしょうか。

しかし、未来に対する不安が払拭されずとも私たち青年会議所運動の中にある豊かな未来につなげようとする思いは一貫しています。私たちは決して途切れることなく、このまちが活力と優しさに満ち溢れ、魅力のある故郷にするために運動を展開しています。そして、未来を見据え、更なるまちの発展を実現するためには、まちの方々にも気概と誇りをもって社会参画して頂く必要があります。地域における活力の源はそこに住み暮らす「人」であり、私たち「JAYCEE」であるに他ならないと考えます。

このまちに住み暮らす人々は先人たちの長年に亘り築き上げた伝統的な文化とアイデンティティを重んじてきました。その先人たちは自然の恵みに感謝しながらも、災害等の危機には、自然を畏敬する謙虚さを学び、そうした風土、特質を自覚しながら新しい文化を築いてきました。私たちも今、先人にならないこの国難とも言えるこの状況下においてこのまちがどうあるべきかを再考する時に立っています。新しい活路を導き出しゼロから見つめ直すという視点に立ちかえるところから歩んで行きたいと思えます。

今の時代背景として高度な知識や豊かな物は得ましたが、物心の不均衡が社会現象となっています。しかし私たちはこの震災により東北人として「結」の精神を誇りに思うことができました。この時代に生きる責任世代として人とのつながりの大切さと、真・善・美から考える、美しいまち、魅力あふれるまちをともに創造していくことこそ、明るい豊かな未来と感じています。

【文化、伝統、自然、歴史を大切にすまちづくり】

夏は高温多湿、冬は寒さが厳しく豪雪のまち米沢。四季の変化に富んだこの地域の中で私たちは生活しています。しかし私たちはこうした特性、特質を活かし、まちの魅力として昇華させました。中でも「上杉雪灯籠まつり」、「上杉まつり」は地域のたからを最大限に活用した事業と言えます。米沢青年会議所は、この事業に初年度から参画し市民の方々

と協働して運動してまいりましたが、こうして継続して運動することにより地域の一員であることの認識を深めることができました。地域に対する愛着を深め、また最大の「おもてなしの心」で市内、外の方々に米沢の文化に触れていただきました。将来的にも、まちの人が郷土を愛し、地域コミュニティの再生のためにも継続していくことは重要であり、地域の風土・文化を守りつつも発展性のある地域未来像を描きながら主体的に社会参画する意識を醸成することは地域活性化に繋がるものと確信しています。

【優しさに満ち溢れ、自律の精神を大事にするひとづくり】

社会構造の急激な変化によりそれに対応できず少年問題化となるケースが増えつつあります。学校では教科書を通して「順序立てて知る」ことが求められます。しかし、「知ること」と「わかること」が表裏一体となっはじめて「生きていくうえでの確かな力」と言えるのです。知識や技能の習得とともに課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を育成し個人として社会の一員として生きる基盤を育てる機会が与えられない今、青年会議所がその役目を果たさなければいけません。子供達と真摯に向き合う教師や家庭はたくさんあると思いますが、そうした頑張っている大人の関心に向け、地域コミュニティーとしての環境づくりをすることが必要であると考えます。

【多面的なネットワークの連携による地域の活性化】

国難とも言える逆境に立たされている状況下においては個人主義ではなく、あらゆるネットワークを活かしたつよい組織づくりが必要であると考えます。地域へのつよい貢献意識を持つ人間関係のつながりが新しいまちづくりの基軸となり、明るい豊かな未来ビジョンを形にすることができるものと確信しています。そして、市民が主体的に関わり自立した「まち」が地域間や市民相互で日常的に助け合うことができる成熟した社会を目指します。これまでの事業を多角的に検証し、新しい地域の魅力づくりと地域の活性化に取り組みます。

【地域資源の魅力を発信するための JCI ASPAC 山形大会への参加】

2014年6月、JCI ASPAC 山形大会が開催することが決定しました。本大会は東日本大震災から復興へと歩みだした今の日本の姿を全世界に発信する大きな位置づけになります。そして多くの外国人デリゲイツが来日し、この東北の姿を見にこられます。震災直後にご支援いただいた皆様への感謝の意を表す共に、団結して長い道のりを歩む広域的且つ強固な友情と信頼関係の構築・維持に私たちも取り組んでまいります。その中で発災後の被災地の様子や災害支援の姿など、私たちの活動を発信します。東北人が復興へ向けて直向に取り組んでいることをご理解いただくと同時に、これからも続く復興への支援（物質的・金銭的意味合いだけではなく、日本の輝くひとつの地域としてご認識いただく）に対する意識を共有していただけるよう、副主管としての責務を全うします。

【新東北の再建のための震災復興活動】

東日本大震災の発災から二年以上が経過し、地域によって差はありますが被災地の復旧・復興が進んでいます。しかしながら、東北などの被災地を離れば、あの日々が忘れ去られ始めているのも事実ですし、復興への道のりがまだまだ長く遠いものであるのも現実です。これまで米沢青年会議所では被災地に出向き被災地での支援活動を継続して行ってまいりました。そこでの教訓として、今私たちができることは物的な支援、復旧・復興は急務ではありますが、何よりも被災地に住む方々の精神的な支えとなることの必要性に改めて気づかされたしだいです。被災地の方々の笑顔を見ることが最大の支援であり復興の源だと感じています。この震災を風化させないためにも、そして被災地の復興、被災者の自立を実現するためにも運動を続けていくことは東北人としての使命として考えます。

【LOMの存続と未来を担うリーダーの発掘】

全国的にみても会員数の減少が大きな問題になっています。無論、この米沢の地においても例外ではありません。揺れ動く社会環境の中で「JCどころじゃない」と思っている方はたくさんいるのかもしれませんが、しかし、この苦難を乗り切った時の「自分」を想像している人はどれくらいいるのでしょうか。立ち向かう試練が大きければ大きいほど、それを超えた時、必ず自分に見合う物が自分に還ってきます。地域社会にとっては会員数の減少は問題ではありません。住民の方々は常日頃より私たちに対し負託と信頼を寄せてくださっています。そうした地域に必要とされる存在として地域社会から認識されているはずで

す。

私たちは先輩たちが長い年月をかけて築いてきた地域との信頼関係を大切にしなければいけませんし、その歴史を再認識しなければなりません。また、JC運動に切れ目を生じさせることは地域の発展をも危ぶみ、オピニオンリーダーとしての原動力を失うことになりうることを自覚しなければいけません。

まずは、スケールメリットを活かしたJC運動の醍醐味を周囲に伝播しながら、社会との関わりを理解して頂き、共に活動していく仲間を発掘していきたいと考えます。

【市民と青年会議所の架け橋となる組織の運営】

ITの進化に伴い情報の伝達の利便性が向上しました。しかしそれに伴い、人間的な付き合いが希薄化したことも否めません。様々な面においてメンバーをバックアップするためにも互いに足を運び、心を寄せ合う人間味溢れる組織運営が必要かと思えます。また、対内、対外との連絡の窓口として、常にメンバーとの意識共有を図れる機会を創出したいと考えています。

【結びに】

私たちの JC 運動は地域社会発展の運動でなくてはなりません。自己の利を迫及するのではなく常に他の利となることを模索し地域全体が明るく活力のある「まち」になることを創造しています。このような壮大な試みを持って運動をする団体は JC 以外に存在しません。だからこそ、この運動を止めてはいけません。私たちが育ったふるさと「よねざわ」。この場所に恩恵を受けて「今」を生かされています。今、私たちがやらなければ誰がやるのでしょうか。私たちしかいません。私たちならできるはずです。今、共に一步を踏み出しましょう。活力があり魅力あるまち米沢の実現のために、次代を担う子供のために、そして、自分自身のために。

公益社団法人 米沢青年会議所

2014年度 基本資料

基本計画

(基本理念・基本方針)

基本理念

己を律し凜然と未来へ
信頼と「結」の社会による
輝きのある郷土^{まち}の創造

基本方針

1. 本会の運動・事業の支援・推進
2. 豊かな心を育む学びのひとづくり
3. 未来を見据えLOMの存続と組織強化のための会員拡大
4. 文化、伝統、自然、歴史を大切にする郷土愛溢れるまちづくり
5. 多面的なネットワークの連携によるまちづくりシステムの構築
6. 公益性と透明性を持ち続ける組織の強化

公益社団法人 米沢青年会議所 2014年度 年間事業計画

月	例 会	内 容	担当委員会
1月	・定時総会	・2014年度総会上程議案を審議し決議を得る	・総務広報委員会
2月	・上杉雪灯籠まつり ・ブロック会長第4エリア公式訪問	・上杉雪灯籠まつりへの参加、ふるまい ・山形ブロック協議会会長公式訪問(高畠)	・おもてなしプロジェクト委員会 ・「ひと」「まち」「こころ」結ぶ凜句特別会議
3月	・地域活性化プロジェクト事業	・次代を担うリーダーの育成事業	・仕合わせ活性化委員会
4月	・震災被災地支援事業	・被災地、被災者への支援活動	・「ひと」「まち」「こころ」結ぶ凜句特別会議
5月	・豊かな心を育む学びのひとづくり事業	・道徳教育事業	・青少年育成委員会
6月	・JCI ASPAC 山形大会への参加 ・山形ブロック協働運動	・JCI ASPAC 山形大会への参加、支援 ・おもいやりプロジェクト事業	・「ひと」「まち」「こころ」結ぶ凜句特別会議
7月	・山形ブロック会員大会 ・地域活性化、地域交流事業	・山形ブロック会員大会長井大会への参加 ・多面的な連携による地域活性化事業	・「ひと」「まち」「こころ」結ぶ凜句特別会議 ・仕合わせ活性化委員会
8月	・青少年育成事業 ・バッジ贈呈・理事長候補者意見表明	・健全な青少年の育成に寄与する事業 ・新入会員、次年度理事長候補者当選者報告	・青少年育成委員会 ・会員拡大委員会
9月	・東北青年フォーラムへの参加 ・通常総会 ・OB 会総会	・東北青年フォーラム酒田大会への参加 ・次年度理事長予定者承認、所信表明 ・OB 会との事業報告会	・「ひと」「まち」「こころ」結ぶ凜句特別会議 ・総務広報委員会 ・事務局
10月	・第4エリア合同例会 ・地域の未来プロジェクト事業	・第4エリア合同会員研修、交流事業 ・まちづくりプロジェクト2014	・事務局 ・おもてなしプロジェクト委員会
11月	・家族交流事業	・会員、家族交流事業	・会員拡大委員会
12月	・卒業式	・卒業式ラストスピーチ	・総務広報委員会

決算書要目内訳書
平成26年1月1日から平成26年12月31日まで

科目	公益事業会計					その他の事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	青少年育成事業	Uとつり事業	まちづくり事業	共通	小計	会員啓発事業	会員拡大事業	親善他団体連携事業	共通			
I 一般正味財産の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息												
特定資産運用益												
貸入金収益					90,000						210,000	300,000
受取利息												
正会員受取会費	280,000	320,000	1,500,000	2,871,857	4,771,857	510,000	150,000	440,000	127,848	1,227,848	2,890,295	6,890,000
新入会員受取会費			350,000	150,000	500,000						190,000	800,000
特別会員受取会費				90,000	90,000						140,000	200,000
賛助会員受取会費												
正会員受取会費												
特別会費				384,500	384,500			550,000	190,000	740,000	80,500	1,185,000
事業収益												
公益事業収益												
登録料収入	100,000	50,000			150,000							150,000
販売収入				170,000	170,000							170,000
寄附料収入												
雑収入												
奨助助成金等												
青少年育成団体補助金収入				400,000	400,000							400,000
民間補助金収入												
寄附財収入												
奨助助成金												
奨助助成金収入												
奨助助成金収入												
奨助助成金収入												
雑収益												
受取利息収入												
その他雑収入												
経常収益計	380,000	370,000	2,420,000	3,336,357	6,506,357	510,000	150,000	990,000	317,848	1,967,848	3,220,795	11,895,000
(2) 経常費用												
事業費				438,000	438,000				148,000	148,000		584,000
給与手当												
退職給付費用												
福利厚生費												
会議費					310,000							310,000
旅費交通費	130,000		286,000		416,000	30,000				30,000		446,000
通信運搬費	70,000		115,000	150,000	335,000			39,800	5,000	44,800		379,800
消耗什物等購入品費	70,000	50,000	1,970,000		2,090,000		75,000			88,100		2,253,100
消耗品費	70,000	40,000	180,000		290,000							290,000
修繕費			50,000		50,000							50,000
印刷製本費	80,000	100,000	180,000		360,000	10,000		5,000		15,000		375,000
燃料費												
光熱水料費												
賃借料			230,000	500,544	730,544	30,000	25,000	50,000	166,848	271,848		1,002,392
保険料	30,000		30,000		60,000							60,000
謝礼金	20,000	200,000			220,000	150,000					190,000	370,000
租税公課												
支払前借金												
JCI会費支出				70,468	70,468							70,468
JCI会費新入会員分支出				8,920	8,920							8,920
国際協力費支出				144,175	144,175							144,175
国際協力費新入会員分支出				18,250	18,250							18,250
日本JCI基本費支出												
日本JCI会費支出												
日本JCI会費新入会員分支出												
地区協議会基本費支出												
地区協議会会費支出												
地区協議会会費新入会員分支出												
プロップ協議会基本費支出												
プロップ協議会会費支出												
プロップ協議会会費新入会員分支出												
全領域下町連携協議会費支出												
WE BELIEVE議談料支出												
日本JCI向け会費支出												
地区協議会出向者負担金支出												
プロップ協議会出向者負担金支出												
支払前借金												
委託費			540,000		540,000	240,000	50,000		147,000	437,000		977,000
雑費	40,000	40,000	345,000		425,000	50,000		3,230,100		3,280,100		3,705,100
管理費												
給与手当											148,000	148,000
退職給付費用											50,000	50,000
福利厚生費											190,000	190,000
会議費											65,000	65,000
旅費交通費											13,250	13,250
通信運搬費											80,000	80,000
消耗什物等購入品費											371,900	371,900
消耗品費											245,598	245,598
修繕費											185,000	185,000
印刷製本費											30,000	30,000
燃料費												
光熱水料費												
賃借料												
保険料												
謝礼金												
租税公課												
支払前借金												
JCI会費支出												
JCI会費新入会員分支出												
国際協力費支出												
国際協力費新入会員分支出												
日本JCI基本費支出											60,000	60,000
日本JCI会費支出											390,000	390,000
日本JCI会費新入会員分支出											25,000	25,000
地区協議会基本費支出											5,000	5,000
地区協議会会費支出											118,900	118,900
地区協議会会費新入会員分支出											10,000	10,000
プロップ協議会基本費支出											390,000	390,000
プロップ協議会会費支出											16,000	16,000
プロップ協議会会費新入会員分支出											249,500	249,500
全領域下町連携協議会費支出											10,000	10,000
WE BELIEVE議談料支出											20,000	20,000
日本JCI向け会費支出											86,000	86,000
地区協議会出向者負担金支出											200,000	200,000
プロップ協議会出向者負担金支出											70,000	70,000
支払前借金											391,997	391,997
委託費												
雑費												
経常費用計	640,000	610,000	3,928,000	1,230,357	6,506,357	510,000	190,000	3,960,000	317,848	4,837,848	3,220,795	14,285,000
評価損益等調整額												
基本財産評価損益等												
特定資産評価損益等												
投資有価証券評価損益等												
評価損益等計												
当期経常増減額	-260,000	-240,000	-1,508,000	2,006,000				-2,570,000		-2,570,000		-2,570,000
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額												
当期一般正味財産増減額	-260,000	-240,000	-1,508,000	2,006,000				-2,570,000		-2,570,000		-2,570,000
一般正味財産期首残高				5,006,001	5,006,001					4,838,698		8,844,699
一般正味財産期末残高	-260,000	-240,000	-1,508,000	7,012,001	5,006,001			-2,570,000		4,838,698		7,274,699
II 指定正味財産増減の部												
売却損益等												
一般正味財産への振替額												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高												
指定正味財産期末残高												
III 正味財産期末残高	-260,000	-240,000	-1,508,000	7,012,001	5,006,001			-2,570,000		4,838,698		7,274,699

J C 宣 言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

公益社団法人 米沢青年会議所

事務所 〒992-0119

米沢市アルカディア1丁目808-18

米沢商工会議所地域産業支援センター内

Phone. 0238-29-0336 Fax.0238-28-7910

E-mail yonejc@ms3.omn.ne.jp